

研究活動報告(アルファベット順)

2020年(1月1日から12月31日)における専任教員の研究活動歴である。ここに掲載されているものは、大阪女学院大学・短期大学研究活動委員会の依頼に応じて、各専任教員が自己申請したものに限定されていることを付記する。研究活動歴は以下のように分類される。

氏名, (専門領域), I.著訳書, II.学術論文, III.その他の著作(研究ノート, 報告書, 雑誌, 新聞, ニュースレター等), IV.学会発表, V.その他の発表(シンポジウム, 講演, 放送等), VI.学会および公的な機関の委員, VII.科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

Bramley, David (ブラムリー・デビッド) [TEFL, Comparative culture, Human rights, Peace studies, Sustainability, Ethics, Vocabulary, eBooks]

I. 著訳書

- (1) English Expression - Elenentary, Shohakusha, April 2020. Individual
- (2) English expression - Pre Intermediate, Shohakusha, April 2020, Individual

崔 大龍 (チェ・デリョン) [戦略経営, ベンチャービジネス]

II. 学術論文

- (1) 「グローバル化する経済活動に関する基本考察」, 『戦略経営研究』2017-2019 Vol.42-44 No.1&2 (合併号), 2020年3月31日発行, 単著

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 戦略経営協会 副会長 2006年4月から現在に至る

Cornwell, Steve (コーンウェル・スティーブ) [TESOL, Education, Curriculum Design]

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) International Academic Forum (IAFOR) President of Academic Governing Board, January 1, 2017 to present
- (2) Japan Association for Language Teaching (JALT) Editorial Advisory Board, JALT Journal, continuing from last year through 12/31/2020.
- (3) Japan Association for Language Teaching (JALT) Editorial Advisory Board, The Language Teacher, continuing from last year through 12/31/2020.

Custance, Imogen M. (カスタンズ・イモージェン) [TESOL, Vocabulary, Speaking]

II. 学術論文

- (1) "Vocabulary learning using student-created class vocabulary lists." Vocabulary learning and instruction, vol.9 (2). August 2020 (共著)
- (2) "Addressing field-specific language through self-selected topics and vocabulary." Proceedings of the 4th international conference: From theory to practice in language for specific purposes. May 2020 (単著)
- (3) "Peer and self-dictation to encourage oral productive practice and reflection on language use." Kwansai Gakuin University Humanities review, 24. February 2020 (単著)

IV. 学会発表

- (1) "Vocabulary learning using student-created class vocabulary lists." JALT Vocabulary SIG Annual Symposium (at JALT 46th Annual International Conference), Online, November 17, 2020
- (2) "Keyword lists to inform vocabulary selection for STEM subject." AAAL, Denver, USA, March 28,

2020 (CANCELLED)

夫 明美(ふ・あけみ) [英語教育]

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国立国語研究所 「日本語基本動詞ハンドブック」版 作成メンバー 2006年-

船越 多枝(ふなこし・たえ) [経営学(組織論・組織行動論), 企業におけるダイバーシティ・マネジメントとインクルージョン, 企業におけるグローバル人材の育成, Organizational Management (Organizational Behavior, Diversity and Inclusion in Japanese companies, Human Resource Development)]

II. 学術論文

- (1) 「日本企業におけるグローバル人材育成に関する一考察 - 駐在経験の有無に着目して -」大阪女学院大学紀要 第16号, 2020年3月, 単著.

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「論説: 企業の持続可能性をもたらすダイバーシティ・マネジメントとは- 心理的安全性から考える -」, 『大阪女学院大学 国際共生研究所 News Letter 第14号』, 2020年11月, 単著.

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「社会人学生としての博士号への道」, 2021年度 組織学会 年次大会, 於: 大阪市立大学(オンライン開催), 2020年10月17日.

VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「がんサバイバーの職場における活躍と課題: インクルージョン概念と制度活用への着目」科学研究費助成事業(科研費) 若手研究, 令和2年度~令和5年度.

幡新 大実(はたしん・おおみ) [比較法]

I. 著訳書

- (1) 「形成途上にある承認理論」, (C.H. アレクサンドロヴィッチ著 D.アーミテージ他編 大中真他訳), 『グローバル・ヒストリーと国際法』, 日本経済評論社, (231-263頁), 2020年12月, 共訳

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「専制と自由2 Tyranny vs Liberty 2」RIICC Newsletter 14 (2020), p.1. 単著
(2) 「退任直前の談話疑問」信濃毎日新聞2020年9月12日2面

IV. 学会発表

- (1) 「アレクサンドロヴィッチにおける『国際社会』の構成国要件に関する史実的批判」, 日本国際政治学会, 2020年10月25日
(2) 「死の過程におけるインフォームド・コンセントと事務管理(第2回)」民法学研究会(於同志社大学) 2020年11月28日

樋川 和子(ひかわ・かずこ) [核軍縮・核不拡散]

IV. 学会発表

- (1) 「2020年NPT運用検討会議に向けて: NPT運用検討会議の結果と核不拡散を巡る動向に関する考察」, 日本軍縮学会, 於: オンライン, 開催日2020年4月18日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「女性・平和・安全保障」, 吉田晴乃記念実行委員会, 於: オンライン, 開催日2020年7月2日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国連軍縮検証政府専門家グループ

- (2) 広島県委託事業「ひろしまレポート」研究委員

加藤 映子(かとう・えいこ)〔言語習得, ICTを活用した教育〕

I. 著訳書

- (1) 「ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ」(単著) かんき出版, 2020年11月

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 絵本とことば 第12号 2020.4発行
(ア) 今季の絵本「だいすきな先生へ」単著
(イ) 「加藤映子の留学物語Vol.12」単著
(ウ) ほんの千夜一夜「ごっこからファンタジーへ 子どもの想像世界」単著
(エ) 子どもとことば「ハルちゃんの軌跡」⑫ 単著
(オ) 英語で絵本「No David!」単著
(カ) 「大阪女学院こぼればなし」単著
- (2) 絵本とことば 第13号 2020.7発行
(ア) 今季の絵本「わたしとあそんで」単著
(イ) 「加藤映子の留学物語Vol.13」単著
(ウ) ほんの千夜一夜「セサミストリート成功物語」単著
(エ) 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」⑬ 単著
(オ) 英語で絵本「Froggie Wnet Hopping」単著
(カ) 「大阪女学院こぼればなし」単著
- (3) 絵本とことば 第14号 2020.10発行
(ア) 今季の絵本「わたしに手紙を書いて」単著
(イ) 「加藤映子の留学物語Vol.14」単著
(ウ) ほんの千夜一夜「ふたつの祖国」単著
(エ) 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」⑭ 単著
(オ) 英語で絵本「Find Colors」単著
(カ) 「大阪女学院こぼればなし」単著
- (4) 絵本とことば 第15号 2020.12発行
(ア) 今季の絵本「おおきいサンタとちいさいサンタ」単著
(イ) 「加藤映子の留学物語Vol.15」単著
(ウ) ほんの千夜一夜「ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ」単著
(エ) 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」⑮ 単著
(オ) 英語で絵本「In the Autumn Forest」単著
(カ) 「大阪女学院こぼればなし」単著

IV. 学会発表

- (1) 「オンラインでもリアルな授業」ADE Festival of Learning (オンライン発表), 2020年7月19日
(2) 「大学教育の今とこれから」ADE Online Meeting (オンライン発表), 2020年8月26日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 私学研修福祉会平成29・30年度私立大学の教育・研究充実に関する研究会(短期大学の部) 運営委員 2017年4月～現在にいたる
(2) 大阪YMCA評議員 2017年6月～現在にいたる
(3) 私立大学連盟理事長会議 幹事 2018年4月～現在にいたる
(4) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 大学機関別認証評価委員会専門委員 2019年5月～現在にいたる
(5) 大阪私立短期大学協会 副会長・理事・広報担当 2020年4月～現在にいたる

- (6) 日本私立短期大学協会 常任理事 2020年6月～現在にいたる
- (7) 公益財団法人大阪府私学総連合会 評議員 2020年6月～現在にいたる
- (8) 一般財団法人大学・短期大学基準協会 評議員 2020年6月～現在にいたる

小松 泰信(こまつ・やすのぶ) [図書館情報学, 情報リテラシー]

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「大学初年次を対象とする研究倫理教育：eラーニングコンテンツを活用した試み」. 『大阪女学院大学紀要』(16), 2020-03-01, 共著

Ⅳ. 学会発表

- (1) 「小論文作成過程のCloud共有と双方向遠隔授業システムによる個別学修の展開」私立大学情報教育協会, 於：私学会館, 開催日 2020年8月25日

Kramer, Brandon (クレマー・ブランドン) [Vocabulary Learning, Language Testing, Corpus Linguistics]

Ⅱ. 学術論文

- (1) “NGSL Coverage of a SHS Entrance Exam and the National Center Test.” *The Language Teacher*, vol. 44(5), October 2020, joint work.
- (2) “An analysis of intercultural pedagogy within a Japanese public high school.” *Temple University Japan Studies in Applied Linguistics*, vol. 133, December 2020, joint work.

Ⅳ. 学会発表

- (1) “Extensive Reading and TOEIC Reading Performance.” JALT 46th Annual International Conference, Online, November 23rd, 2020.

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) JALT Vocab SIG, Executive Board Member, January-December 2020.

Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) JSPS Grant-in-Aid for Early-Career Scientists: No. 19K13311, The effects of deliberate learning with digital flashcards on the implicit knowledge of visual and aural word forms: A lexical decision task study, 2019-2022

馬淵 仁(まぶち・ひとし) [国際教育, 移民政策と教育, 教育社会学]

Ⅰ. 著書

- (1) 「教育現場の日常-学校」 「あとがき」, (青木麻衣子, 佐藤博志), 『オーストラリア・ニュージーランドの教育-グローバル社会を生き抜く力の育成に向けて』, 東信堂, (pp.83-92, pp.187-190), 2020年3月, 単著

Ⅱ. 学術論文

- (1) 「異文化間教育における政策と研究者の役割-研究の総括-」 『異文化間教育』 51号, 2020年3月, 共著

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「『共生』の捉え方を再考する」, 大阪女学院大学国際共生研究科通信第14号, 2020年11月, 単著

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 異文化間教育学会理事
- (2) オセアニア教育学会理事

Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「日本性に基づく異文化間能力の教育プログラム開発に関する研究」 科研基盤研究(C),

2018～2020年

前田 美子(まえだ・みつこ)〔比較・国際教育, 開発教育, 国際協力, 理科教育, 教育方法, 教師教育, ファシリテーション研究〕

I. 著訳書

- (1) 訳書: ダニエル・A・ワグナー著『SDGs時代の国際教育開発: ラーニングア・アズ・ディベロップメント』, 法律文化社, 2020年9月, 単訳. [原著: Daniel A. Wagner (2018) *Learning as Development: Rethinking International Education in a Changing World*, Routledge]

II. 学術論文

- (1) 「カンボジア教師の不正行為に関するライフストーリー: 教師教育援助への示唆」, 『教師教育研究』, 10号, 5-16頁, 2020年3月, 単著, (査読有).

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「EdCamp (Edcamp) の普及とその研究動向 - 情報時代における草の根職能開発 -」, 『教師教育研究』, 10号, 28-32頁. 2020年3月, 単著, (査読有).
- (2) “Actors Holding the Government Accountable in Cambodia: How can it be Done?” NORRAG Special Issue 03, pp.72-75, individual work, (Reviewed).
- (3) 「研究活動報告」, 『大阪女学院大学国際共生研究所通信』第14号, 2020年11月, 単著.
- (4) 「カンニングの科学」, 『大阪女学院大学国際共生研究所通信』第14号, 2020年11月, 単著.

IV. 学会発表

- (1) 「教育不正に対する教師の態度 - 教師教育援助への示唆 -」, 日本教師教育学会第30回大会, オンライン開催, 2020年9月13日
- (2) 「教員養成学士化と国際協力 - カンボジアとミャンマーを事例に -」, 日本教師教育学会第30回大会, オンライン開催, 2020年9月13日
- (3) 「開発途上国における中高生のカンニング行為 - なぜ理科の試験でカンニングをするのか -」, 日本理科教育学会第70回全国大会, 紙面発表, 2020年9月22日 - 23日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 企画・ファシリテーター: 「JOCA's support to development education」, 大阪女学院大学国際共生研究所ファシリテーション・メディアーション研究会, オンライン開催, 2020年7月15日
- (2) アドバイザー: グローバルキャンペーン「おにぎりアクション」, 於: 大阪女学院大学, 2020年10月

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 鳴門教育大学教員教育国際協力センター共同研究員 2012年8月より
- (2) Editorial board member of the International Journal of Comparative Education and Development (IJCED) 2015年10月より
- (3) 早稲田大学教師教育研究所 招聘研究員 2019年1月より

VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「開発途上国の学業不正に関する研究: 大学生のライフストーリーから」, 科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者, 平成29年度～令和2年度
- (2) 「国際教育開発としての日本型教育の輸出: 教員養成カリキュラムを事例に」, 科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究分担者, 平成29年度～令和2年度

松尾 徹(まつお・とおる)〔協同学習, 語彙習得, 英語教授法(特にCLIL), 多読, リーディング〕

II. 学術論文

- (1) Creation and Validation of an Antonym Semantic Decision Task to Measure Japanese EFL

Learners' Automaticity of Word Recognition. 大阪女学院大学紀要第16号, 2019, 単著

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「CAPAフレームワークに基づいたCLIL授業の実践－組織的かつ効果的に内容と言語形式を統合した授業を目指して－」日本CLIL教育学会 J-CLIL Newsletter Vol 5. 2020年7月19日

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「協同学習に基づく語彙・文法学習」大阪女学院大学教員免許状更新講習, 2020年8月4日

Miller, Richard (ミラー・リチャード) [Political Economy, English as a Second Language, Leadership, Business]

I. 著訳書

- (1) Miller, R., Parrish, M. "Transforming Your Academic Curriculum Vitae (CV) into a Career Strategy Tool." (pp. 47-59) Alexiou, T., Zoghbor, W. (Eds.) *Advancing English language education*. Zayed University Press (295 pages)

II. 学術論文

- (1) ----- "Chancellors lecture series: Climbing the success ladder in higher education and life." *The Summit International Review*. Vol.1 No.1 (Individual) pp.11-21. December.
- (2) ----- "Narrative Case Study of a transformational leadership approach to funding the Grapesyard Soma Library in Korogocho, Kenya" pp.47-57 *The Journal of Engaged Pedagogy* [関係性の教育学] Peace as a Global Language 2017 Bridges to Peace: Culture, Commerce, and Communication Vol. 19 No.2 (Individual) August
- (3) ----- Rethinking theories of individual leadership in international relations. *Journal of American Academic Research*. Vol.8 No.1 JAAR pp.71-77 (Individual)

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) ----- *Executive health*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management December pp.44-45
- (2) ----- *Private Industry Needs to Step-up During this Time of Crises for the Future of the Country*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management November pp.46-47
- (3) ----- *The transformation of business education*. Envion Magazine. Nairobi, Kenya October 29th.
- (4) ----- *Business Plans: A vital tool for any business*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management October. pp.48-49.
- (5) ----- *Strategic business analysis tools for your enterprise*. Envion Magazine. Nairobi, Kenya October 18th.
- (6) ----- *Donald Trump's quest for the Nobel Peace Prize*. The Toronto Tribune. Toronto, Canada. September 17th
- (7) Miller, R., Parrish, M. *Research grants and career development*. JALT CUE Circular. September pp.12-14.
- (8) ----- *Grapesyard: Making a difference in Korogocho through education*. Envion Magazine. Nairobi, Kenya. September 16th.
- (9) ----- *Canadians giving*. The Toronto Tribune. Toronto, Canada. September 3rd
- (10) ----- *Goal Setting for Educators in the Time of COVID*. Hawaii TESOL The Word. September pp. 34-36
- (11) Miller, R., Parrish, M. *Giving back through leadership*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management August. pp.38-39
- (12) ----- *Developing networks in the age of COVID 19*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management August. pp.54-55.

- (13) Ritchie, Z., Miller, R., Parrish, M. *Maximizing the use of tele-conferencing tools such as Zoom*. The Kenya Institute of Management July. pp.44-45
- (14) ----- *Best Goal Setting Strategy for You and Your Business*. EnvSION Magazine. Nairobi, Kenya. August 18th.
- (15) Miller, R., Parrish, M. *Remote corporate training tools*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management June. pp.52-53
- (16) ----- *How COVID-19 has disrupted the global real estate market*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management June. pp.40-41.
- (17) ----- *Anarchy in the international system*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management May. pp.52-53.
- (18) Ritchie, Z., Miller, R., Parrish, M. *“Black Swan” event effect on your business*. The Kenya Institute of Management May. pp.16-17
- (19) ----- *Driving traffic to your website*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management April. pp.54-55.
- (20) ----- *Bad corporate culture will ruin your business*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management March. pp.48-49.
- (21) ----- *Bootstrap financing for start-ups*. Management Magazine. The Kenya Institute of Management February. pp.46-47.
- (22) ----- *Steep learning curve challenges of technology*. Tax Prism Magazine. Nairobi, Kenya February. pp.56-57

IV. 学会発表

- (1) ----- *International relations power diplomacy theories: Mackinder’s Heartland Theory and the dual traps of Thucydides & Kindleberger*. Summit International Institute Summer Seminar. August 12th.
- (2) ----- *Mirco-considerations and motivations for migration of refugees in Korogocho: Challenges and responses*. The Eighth International Conference on Leadership “Strengthening Leadership and Integrity towards Sustainable Development” Management University of Africa, Nairobi. September 11th.
- (3) Miller, R., Parrish, M. *Career strategies in era of COVID*. 45th JALT National conference. November 22nd

V. その他の発表（シンポジウム・講演・放送等）

- (1) ----- *Keynote address: Challenges for leadership in the age of COVID*. The Eighth International Conference on Leadership. Strengthening Leadership and Integrity towards Sustainable Development” Management University of Africa, Nairobi. September 11th.
- (2) ----- *Keynote Panel 2: Social capital: Opportunities for Burundi in the post-COVID marketplace*. University of Burundi. Bujumbura, Burundi, September 24th.

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) Peace as a Global Language, Executive Director.
- (2) Japan Association of Language Teachers (JALT):
 - SIG Officer Roles (Business SIG-Member at Large’ Global Issues in Language Acquisition SIG-Member at Large; College and University Educators SIG Grants Co-coordinator)
 - Job Information Centre (JIC) Co-Coordinator.
- (3) Academics Supporting Korogocho, Nairobi, Kenya. Founding Director.
- (4) Grapesyard NGO, Nairobi, Kenya. Board of Directors
- (5) Changemakers NGO, Prince Rupert, Canada. Board of Directors

仲川 浩世(なかがわ・ひろよ)〔英語教育, 応用言語学, 教材開発研究〕

I. 著訳書

- (1) 「内省的な書き手育成を目指した英語ライティング指導モデルの探求」鬼田崇作・山内優佳(編著)『深澤清治先生退職記念 英語教育学研究』溪水社, (pp.61~74). 2020年3月, 共著

II. 学術論文

- (1) “The effects of implicit learning on Japanese EFL junior college students’ writing.” *International Journal of Instruction*, 13 (1), 637-652. January, 2020. Joint.

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「ライティング意識の質的分析に基づく教材案」*JAAL in JACET Proceedings*, Vol. 2, March, 2020. Joint.
- (2) 『深澤清治先生退職記念 英語教育学研究』書籍紹介, RIICC Newsletter (大阪女学院大学国際共生研究所通信 第14号) 2020年10月
- (3) 「明日は明日の風が吹く」大阪女学院大学・短期大学, 教員養成センターホームページ, 英語教育リレー随想 第122号, 2020年12月

IV. 学会発表

- (1) 「オンライン授業における大学初年次教育－批判的思考力育成と学習者の気づき－」JACET 関西支部教材開発研究会 第16次プロジェクト第5回例会 於: Zoomのミーティング 2020年9月19日
- (2) “Kansai materials design & development : past, present, and future.” SIG Presentation 於: Zoomのミーティング 第3回JAAL in JACET 学術交流集会 2020年12月6日

V. 学会および公的な機関の委員

- (1) JACET関西支部教材開発研究会 第16次プロジェクト代表

VI. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「協同学習支援を用いた英語ライティング指導の試み」基盤研究(C) 2018年4月~2021年3月 研究代表者
- (2) 『内省的フィードバックを取り入れた効果的な英語ライティング指導』大阪女学院大学 2020年度 研究出版助成金

中西 美和(なかにし・みわ)〔臨床心理学〕

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「カウンセリング概論」, 関西のちの電話 第56期電話相談ボランティア養成講座, 於: 関西のちの電話(博愛社5階), 2020年9月10日, 講師

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本臨床ゲシュタルト療法学会, 常任理事, 2019年~2021年

奥本 京子(おくもと・きょうこ)〔平和学・紛争転換学・非暴力介入論・平和ワークにおける芸術アプローチ・ファシリテーション論・メディエーション論・NGO論〕

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「NARPI2020年度計画」, 『非暴力平和隊・日本(NPJ) ニュースレター』第75号, 2020年6月16日, 単著
- (2) 「巻頭言 新型感染症の時代に平和を創ることの意味: 「信頼」を通じた「平和」の再考」, 『ウプムエ: 「佐々木さんを支援する会」会報』第50号, 2020年8月22日, 単著
- (3) 「テーマ: 教育による平和構築－大虐殺後のルワンダで平和学教育として取り組んできたこと(佐々木和之氏) 大阪女学院大学国際共生研究所 公開研究会 報告」, 『大阪女学院大学国際共生研究所通信(RIICC Newsletter)』第14号, 2020年10月, 単著

IV. 学会発表

- (1) “Peace Education and Training Using Animation”, INMP, International Network of Museums for Peace (第10回国際平和博物館会議), 於: オンライン, 開催日: 2020年9月16日~20日, (共同発表: Kyoko Okumoto, Yuko Takabe, and Ryozo Teruoka)

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「基礎から学ぶ「人対人」の平和構築研修」, アイ・シー・ネット株式会社グローバル人材開発事業部, 於: アイ・シー・ネット(株) 30階会議室, 2020年1月25日(副講師: 佐々木萌氏)
- (2) 緊急企画部会「コロナ危機に立ち向かう」, 日本平和学会春季研究大会, 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年5月31日(運営チーム)
- (3) 「平和をデザインする」, 東北芸術工科大学芸術平和学講座, 於: オンデマンド, 2020年6月30日
- (4) “the NARPI 10th Anniversary Virtual Celebration and Reunion”, Northeast Asia Regional Peacebuilding Institute, 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年8月15日(企画・運営, 前半ファシリテーション)
- (5) “Discussing the Past, Present, and Future of Hiroshima in 2020 Commemorating the 75th Anniversary of Atomic Bombing”, INMP, International Network of Museums for Peace (第10回国際平和博物館会議), 於: オンライン, 2020年8月3日 Zoom ウェビナーにて実施, 9月16日 ウェブサイト掲載開始(パネルディスカッションのCoordinator/Moderator, Panelists: Akiba Tadatashi, Kondo Koko, Roy Tamashiro, Matsumoto Erina)
- (6) 「8/26【世界を学ぼう】芸術を通して伝える平和紛争学」, ピースボート, 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年8月26日
- (7) 「Arts Building Peace」, Mindanao Peacebuilding Institute (MPI), 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年9月25日~11月27日, 毎週1回(共同ファシリテーター: Babu Ayindo氏)
- (8) “From Security Approach to Peace Approach: for our region, Northeast Asia, in the time of Covid-19 pandemic”, Nanjing Peace Forum (Theme: Building Holistic and Pluralistic Visions of Peace for a New Era), 於: Nanjing, China, and online around the globe, オンライン (recorded), 2020年10月25日
- (9) 「ワークショップ 川柳で表現! 平和の一句 2020」, 日本平和学会秋季研究集会平和と芸術分科会, 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年11月7日(ファシリテーター: 佐藤壮広氏, 司会・アシスタント: 奥本京子)
- (10) 「オンラインワークショップ: 新型コロナウイルス感染拡大が気づかせてくれた平和教育の可能性」日本平和学会秋季研究集会平和教育プロジェクト委員会, 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年11月8日(共同ファシリテーター: ロニー・アレキサンダー, 奥本京子, 笠井綾, 鈴木晶, 高部優子, 暉峻僚三, 中原滯佳)
- (11) 「セッション2: 和解のための調停/理論・実践」, ファシリテーター養成セミナー第3回プログラム『和解をもたらす人づくり 平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー(第2期: 特別版)』(テーマ: 和解をもたらす人づくり~新型コロナウイルスによる分断から和解へ~), 主催: (公財) 世界宗教者平和会議(WCRP) 日本委員会, 和解の教育タスクフォース, 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年11月22日
- (12) 「セッション3: 東アジアの平和をともに創造するために-平和学ワークショップ」, 日中和平学オンライン交流会(テーマ: ポストコロナ時代における東アジア平和学の展望), 日本平和学会国際交流委員会, 於: オンライン (Zoom ミーティング), 2020年12月5日

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国際トランセンド 認証トレーナー 2000年11月26日~現在に至る
- (2) 同上 東北アジア地域コンピーナー 2006年~現在に至る

- (3) トランセンド(平和的手段による紛争転換)研究会 理事 2017年1月～現在に至る
- (4) 非暴力平和隊・日本 理事 2003年1月31日～現在に至る
- (5) 日本平和学会 平和と芸術分科会 副責任者 2012年2月～現在に至る
- (6) NARPI (Northeast Asia Peace Research Institute) 運営委員会委員 2009年～, 委員長 2014年～, 副委員長 2020年～現在に至る
- (7) ACTION Asia Leader 2010年11月～現在に至る
- (8) 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 共同研究機関「文明哲学研究所」 客員教授 2013年4月～2020年3月
- (9) 神戸家庭裁判所(本庁) 家事調停委員 2014年10月1日～現在に至る
- (10) 大阪女学院大学国際共生研究所(RIICC) プロジェクト3「ファシリテーション・メディアエーション研究」設立者・代表 2014年10月8日～現在に至る
- (11) The Charhar Institute (察哈尔学会) 高級研究員 2015年12月～現在に至る
- (12) 日本平和学会第24期理事 2020年1月～2021年12月
- (13) 日本平和学会第23期広報委員会委員長 2020年1月～2021年12月
- (14) 南京大屠殺史と国際和平研究院 (the Institute of Nanjing Massacre and International Peace Studies, INMIPS) Special Fellow 2017年10月～現在に至る
- (15) 米国 Brandeis University, International Center for Ethics, Justice and Public Life, Peacebuilding and the Arts, "IMPACT - Imagining Together: Platform for Arts, Culture and Conflict Transformation" プロジェクト 東北アジア担当研究員 2017年12月～現在に至る
- (16) Journal Inter Views: an interdisciplinary journal in social sciences, editorial board member 2019年6月～現在に至る
- (17) 第10回国際平和博物館会議(INMP) プログラム委員会委員 2019年9月～2020年9月
- (18) 一般社団法人OBI(沖縄ブリッジビルダーズインスティテュート, Okinawa Bridge-builders Institute Association Inc.) 設立時専門委員 2019年～現在に至る

VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「原発災害後の人間関係の葛藤への紛争解決学による変容支援研究」科学研究費基盤研究(C) 平成27～29年(延長中)
- (2) 「分断された地域コミュニティの「対立・葛藤変容」に向けた分析とプログラムの提示」科学研究費基盤研究(B) 平成31～35年

大塚 朝美(おおつか・ともみ) [英語音声教育, TESOL]

II. 学術論文

- (1) 「日本人大学生によるR音性母音を含む英語母音の知覚混同」*JACET Kansai Journal*, 22, March, 2020, 55-67. (単著)
- (2) 「日本人大学生を対象とした英語の単音及び単語間の音のつながりの知覚と自己モニターを取り入れた教授法に関する研究」神戸大学大学院国際文化科学研究科博士論文, 2020年3月. (単著)

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「英語音声の理論と教材作成:音素、文強勢、音のつながり、イントネーションを中心に」(第一部), 2020年度教員免許状更新講習, 於:大阪女学院大学・短期大学, 2020年8月3日

VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「グローバルリンガフランクカとしての英語とオーラルコミュニケーション能力の伸張」文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究分担者 2019年4月～2022年3月

朴 賢淑(パク・ヒョンス)〔キリスト教学(神学), 宣教学(東アジア, ラテンアメリカおよびヨーロッパにおけるキリスト教の宣教), 実践神学〕

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「春学期のチャペルアワー」『ニューズレター』(第19号), 2020年12月7日.
- (2) 「大学リトリート(リトリートに参加して)」『ハイライツ』, 2020年12月.

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 大阪女学院教育研究セミナー「祈り会」(第1回)「私たちは神との間に平和を得ており」, 大阪女学院教育研究センター主催, 2020年7月28日.

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本キリスト教学会近畿支部会幹事(2018年～現在)

関根 聡(せきね・あきら)〔社会学, 家族社会学, 福祉社会学, ジェンダー論〕

Ⅱ. 学術論文

- (1) 「看護学生における性役割プロセスに関する一考察」, 『吉備国際大学大学院社会学研究科論叢 21号』, 2020年3月1日, 単著

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「高齢化の現状と、地域とのつながりについて」, 丹波篠山市人権・同和教育研究協議会, 於: 丹波篠山市民センター 多目的ホール, 2020年2月13日.

Ⅵ. 学会および公的な機関の委員

- (1) 阪南市男女共同参画推進審議会 副会長 2014年7月～2022年3月
- (2) 大阪市 大阪市立男女共同参画センター西部館及び大阪市立こども文化センター管理運営評価有識者会議 委員 2017年7月～
- (3) 一般財団法人 大学・短期大学基準協会 認証評価に係る評価員 2020年4月～2021年3月

Sponseller, Aaron C. (スポンセラー・アロン)〔TESOL, Applied Linguistics, Early Childhood L2 Literacy, Study Abroad〕

Ⅱ. 学術論文

- (1) “ALT, JTE, and Team Teaching: Aligning Collective Efficacy.” *Teacher Efficacy, Learner Agency*, July 2020, Joint.
- (2) “Interacting With Competence: A Validation Study of the Self-Efficacy in Intercultural Communication Scale-Short Form.” *Frontiers in Psychology*, September 2020, Joint.

Ⅳ. 学会発表

- (1) “Validation of a Parental Reading Belief Scale for Japanese L1 Mothers.” Thai TESOL, Bangkok, January 2020. [Accepted to conference, withdrew due to COVID-19]
- (2) “The Correlation between Intercultural Effectiveness, Second Language Proficiency, and Perceived Second Language Self-Efficacy.” CAMTESOL, Phnom Penh, February 2020. [Accepted to conference, withdrew due to COVID-19]
- (3) “Some Answers to Questions about Google Classroom.” Hiroshima JALT, online, May 2020.

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “How JTEs and ALTs Can Work Together for the Benefit of Students.” Yamaguchi Prefecture Mid-Year Conference [Keynote Presentation], online, 2020 November 19.

Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) Role Perceptions in All Phases of Team Teaching 若手研究(B) 2017-2020

Swenson, Tamara (スウェンソン・タマラ) [Communication, Media, TESOL]

I. 著訳書

- (1) *Writing in English: A guide* (3rd ed.). Osaka Jogakuin Press, March 2020, Editor, author (e-book)
- (2) *Human rights today* (2nd ed.), Osaka Jogakuin Press, March 2020, Editors with S. Cornwell (e-book)
- (3) *Identity and values* (2nd ed.), Osaka Jogakuin Press, March 2020, Editors with S. Cornwell (e-book)
- (4) *Peace and values* (2nd ed.), Osaka Jogakuin Press, March 2020, Editors with S. Cornwell (e-book)
- (5) *Sustainable futures* (2nd ed.), Osaka Jogakuin Press, March 2020, Editors with S. Cornwell (e-book)

IV. 学会発表

- (1) Motivational change after curricular revision. JALT International Conference, Online, Japan, November 22, 2020.
- (2) Nearly paperless: Nine years of iPads for all. JALT International Conference, Online, Japan, November 21, 2020.

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) National Center for Entrance Exams, English (written) Test Development Committee member from April 2016 to March 2018. Development of the exams administered in January (two exams) of 2017, 2018, and 2019. Allowed to include in resume from April 2020. 大学入試センター, 英語(鉛筆)委員会メンバー, 2016年4月~2018年3月(2017年, 2018年と2019年の試験). 2020年4月からの履歴書に含めることが許可されています。
- (2) *JALT Journal*, Editorial Advisory Board member, Jan. through Dec. 2020 (full year)
- (3) *JALT 2019 Conference Proceedings*, Editorial Advisory Board member, Jan. through Dec. 2020 (full year)
- (4) JALT 2020 Conference Proposal Reading Committee member, Jan. to March. 2020
- (5) 玉造カトリック教会, 聖マリア大聖堂, 広報委員会メンバー, 2020年1月~12月 (Tamatsukuri Catholic Church, St. Mary's Cathedral, Publicity Committee member, Japanese to English and English to Japanese translation as needed, and English publicity, Jan. through Dec. 2020 (full year)
- (6) Osaka Archdiocese proofreader for publication of haiku in English by Cardinal Thomas Aquinas Manyo Maeda, May 2020, volume published July 2020
- (7) Doctoral Dissertation Committee Chair, Temple University (USA), for Aeric Wong, *The effect of degrees of reminders on vocabulary transfer to writing tasks*, Ph.D. awarded May 2020 (chair from April 2016 until completion).
- (8) Doctoral Dissertation Committee Member, Temple University (USA), for Raymond Yasuda, *Formation and maintenance of online academic communities of practice in a university EAP course*, Ph.D. awarded May 2020 (committee member from February 2017 until completion)
- (9) Doctoral Dissertation Committee Member, Temple University (USA), for Shuji Kojima, *The effect of genre-based instruction on academic speech*, Ph.D. awarded August 2020

高橋 宗瑠(たかはし・そうる) [国際人権法, 国際人道法, 国際難民法, イスラマフォビア]

I. 著訳書

- (1) 'All Carrots and No Stick: Human Rights Regulation of Companies in Japan', in Gomez, James and Rapcharan, Robin ed., *Business and Human Rights in Asia: Duty of the State to Protect*, Palgrave MacMillan.
- (2) "'He Found You Lost and He Guided You' (93: 7)", in Murad, Nora ed., *I Found Myself in Palestine: Stories of Love and Renewal from Around the Globe*, Olive Branch Press.

Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) Book Review of Turner, Mandy ed., *From the River to the Sea: Palestine and Israel in the Shadow of "Peace"*, in *Middle East Critique*, Taylor & Francis, Vol. 29 No. 3.

Ⅳ. 学会発表

- (1) 'Covid 19 and the Japanification of Human Rights', *The Psychology of Global Crises: State Surveillance, Solidarity, and Everyday Life*; American University of Paris (April 2020)
- (2) 'Covid 19 and Human Rights: Fundamental Questions', *Human Rights in Covid-19 Times*; University of Ottawa (June 2020)

Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 'Legal Imagination in International Human Rights Law', Newcastle University Law School Seminar Series on Law, Politics, and the Power of Imagination (Feb. 2020)
- (2) 'COVID-19 Business Continuity Plan: Human Rights in times of Economic Downturn', Global Compact Malaysia Virtual Dialogue Series (April 2020)
- (3) 'Business and Human Rights: What Companies Need to Do', Summit International Institute Seminar, Summit International Institute (August 2020)
- (4) 'The Muslim World: the View from Japan', Islamophobia Research and Documentation Project, UC Berkeley and University of Leeds (September 2020)
- (5) 'National Webinar: Contribution of International Aid to Palestine', Nusantara Palestine Centre, Centre for Dialogue and Civilization (September 2020)
- (6) 'Japan and ASEAN: Viewing ASEAN as an Equal Partner', ASEAN-Japan Relations: the Impact of the Covid-19 Pandemic, Asia Centre (November 2020)
- (7) 'Access to Remedies in Environment / Business and Human Rights', 4th Regional Network Meeting on Human Rights Education, ASEAN University Network, Mahidol University Institute of Human Rights and Peace Studies (November 2020)
- (8) 'Business and human rights in Japan', Online Winter Academy of Human Rights and Development, German-Southeast Asian Center of Excellence for Public Policy and Good Governance (December 2020)

Ⅵ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「ムスリム移住者との共生：国際人権法から見たデンマーク新政策の事例」(単独), 2019-2020年度, 日本学術振興会科学研究費補助事業, 研究活動スタート支援
- (2) 「アジア地域に於ける多言語司法と人権政策との関係」(パレスチナ担当), 2019-20年度, 日本大学経済学部グローバル社会文化研究センター研究プロジェクトA研究

Teaman, Brian (ティーマン・ブライアン) [Phonetics, Pronunciation, Computer Assisted Language Learning]

Ⅱ. 学術論文

- (1) Development of L2 prosody: The case of information focus. In Isabelli, C-A, Leal, T. & Shimanskaya, E. (eds.) *Generative SLA in the Age of Minimalism: Features, Interfaces, and Beyond*, Selected Proceedings of the 15th Generative Approaches to Second Language Acquisition Conference. John Benjamins Publishing, 2020. Joint work.

Ⅳ. 学会発表

- (1) Introduction: Prosody and Body, Proceedings of the 34th general meeting of the Phonetic Society of Japan. November 2020. Joint work.
- (2) Mirroring, Shadowing, and Gesture Alignment in Interlanguage English Speech. Online Conference of Laboratory Phonology, University of British Columbia. July 2020. Joint Work.

- (3) Nearly Paperless: Nine Years of iPads for All (Impact of the Pandemic on Attitudes Towards ICT in English Education) JALT International Conference, Online, November 21, 2020. Joint work.

上野 育子(うえの・いくこ)〔応用言語学, 第二言語習得, 言語教師認知研究, ビリーフ〕

II. 学術論文

- (1) Ueno, I. (2020). Learners' Beliefs About Target Language Use Only in a CLIL Class. *The Journal of the Japan CLIL Pedagogy Association*, 2, 74-91.
- (2) 「リメディアル教育としてのファンデーションコースの考察：文法クラス内での学習効果および学習者のフィードバック」, 『大阪女学院大学紀要』第16号, pp.61-78. 2020年3月発行

VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本CLIL教育学会 運営委員

山本 淳子(やまもと・じゅんこ)〔第二言語習得, 動機づけ, CALL〕

II. 学術論文

- (1) 「ICTを中心とする英語教育を受けた学生の意識に関する質的研究」, 『日本教科教育学会誌』43, 3, 2020年12月, 単著.

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) Motivational Effects of ICT on Japanese EFL Students. *Media, English and Communication*, 10, 2020, November, individual.
- (2) 「英語教育における機械翻訳の役割」大阪女学院大学・短期大学, 教員養成センターホームページ. 英語教育リレー随想 第121号, 2020年11月, 単著.

IV. 学会発表

- (1) Nearly Paperless: Nine Years of iPads for All (Impact of the Pandemic on Attitudes Towards ICT in English Education)
JALT International Conference (JALT 2020 Online), November 21, 2020, joint work.

VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 協同学習支援を用いた英語ライティング指導の試み. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(研究分担者). 2018年度-2020年度.